

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年09月19日

計画の名称	国富地区（3期）都市再生整備計画												
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	国富町												
計画の目標	大目標：安心・安全で未来に希望の持てる元気なまちづくり 目標1 若い世代からアクティブシニア・高齢者が元気で「安心・安全で住みよい」と思えるまちづくりを目指し、世代間交流の促進や生活環境の改善等による町民の定住意欲の向上を図る。 目標2 「安心・安全で住みよい」まちづくりの推進と移住者の受け皿確保により移住者増加を図り、「未来に希望の持てるまちづくり」の実現を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	121	A	121	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28末)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	事業前後においてまちに関する満足度のアンケート調査（1点～5点の5段階評価）を行い、地域住民の満足度（生活環境、安心・安全）を向上させる。 事業前後における満足度に係るアンケート調査結果の平均値を計測・算定する。（1点～5点の5段階評価）	3点	3点	4点
2	防災性向上を測定する指標として「迅速な初期消火が可能となる家屋敷」を算出する。（消防用ホースの展張100m範囲内） 防災性向上を測定する指標として「迅速な初期消火が可能となる家屋敷」を算出する。（消防用ホースの展張100m範囲内）	0戸	190戸	386戸
3	本地域への移住世帯数を増加させる。 計画期間内（平成30年度～平成34年度）における本地域への移住世帯数を増加させる。	3世帯/年	4世帯/年	5世帯/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	-----------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	H32	H33	H34				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	国富町	直接	国富町	-	-	都市再生整備計画(国富地区(3期))	下本庄太田原線整備等	国富町						121	2.88	-	
												小計						121		
											合計						121			

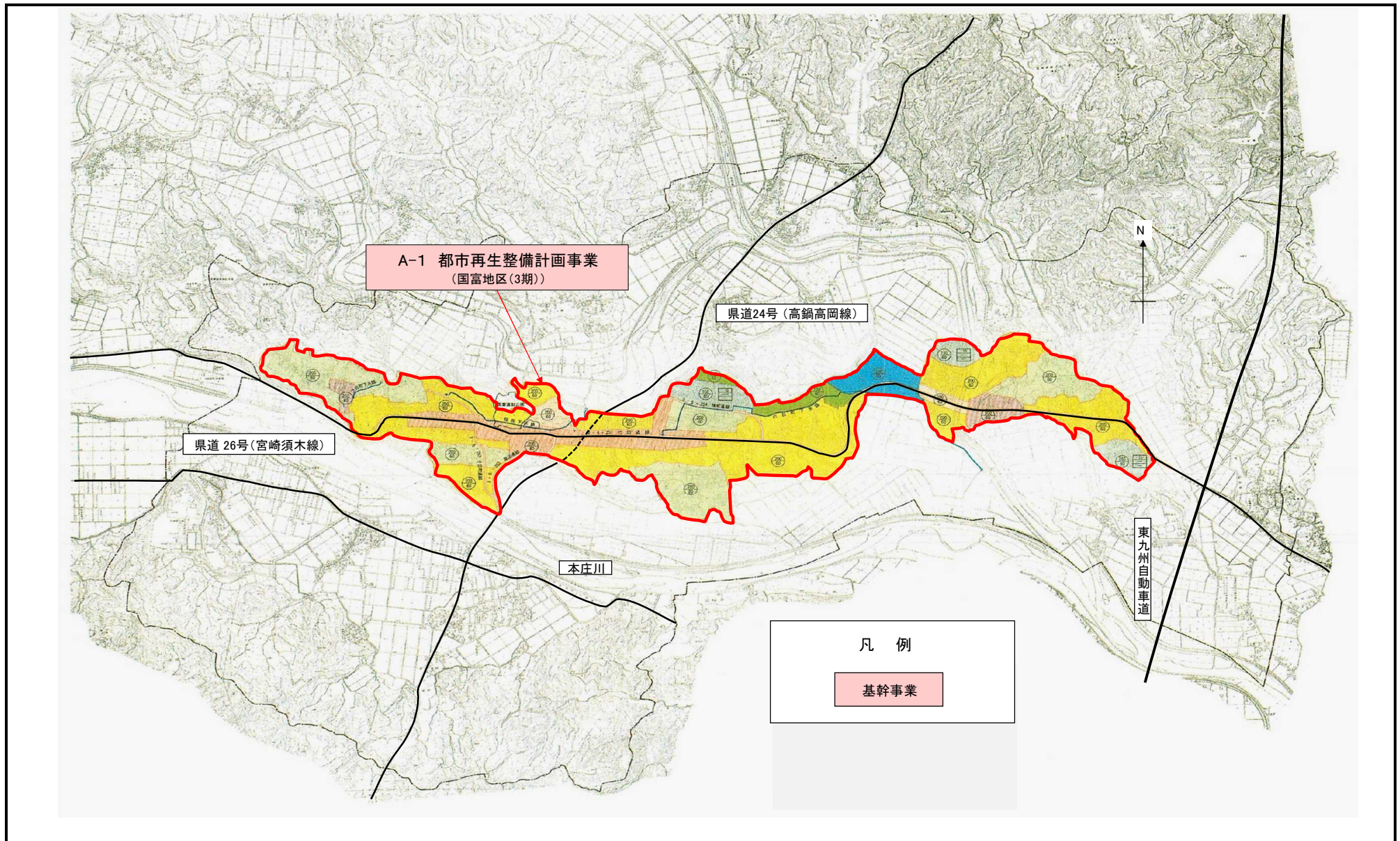
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H30	H31	H32	H33	H34
配分額 (a)	10.000	12.800			
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	0.000			
交付額 (c=a+b)	10.000	12.800			
前年度からの繰越額 (d)	0.000	0.000			
支払済額 (e)	10.000	12.800			
翌年度繰越額 (f)	0.000	0.000			
うち未契約繰越額 (g)	0.000	0.000			
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

(参考様式3)

計画の名称	国富地区(3期)都市再生整備計画		
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)	交付対象	国富町



事前評価チェックシート

計画の名称： 国富地区（3期）都市再生整備計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

